



庄原赤十字病院 第一外科部長

高 高 寛 年

## 外科的疾患 と手術

### 外科的疾患とは？

手術が必要な病気です。がん、腫瘍、急性虫垂炎、胆のう炎、脱腸、痔などがあり、腸閉塞、消化管穿孔（穴が開く）による腹膜炎などは、すぐに手術が必要です。

### 早期発見と早期治療を

がんなどは健康診断などによる早期発見が大事ですが、残念ながら手術で手術できない状態で受診される人が多いです。取り返しがつかなくなる前に、定期的に検診を受け、早期発見早期治療を行いましょう。

### もしも手術が必要な病気が見つかったら

受診して手術が必要な病気が見つかったら、受診した医療機関で手術する場合がありますが、別の医療機関を勧められる場合があります。特に、食道がんや膵臓がん、肝臓がんなどの難易度の高い手術は、一般的に大病院で受けるよう勧められます。

ただ、都市部の大病院に行くには負担がかかります。それを考慮し、当院でも大きな手術ができる執刀医を外部から呼び、可能な設備も備え、いつでも受け入れられる体制を整えていますので、ご相談ください。

## 「熱中症」に気を付けよう！ また安心できないうー！

保健医療課健康推進係

☎ 0824・73・1255

昨年6月1日～9月30日に熱中症で救急搬送された件数は、県内で1120件と、多くの方が熱中症になりました。熱中症は7月～8月がピークと言われていますが、残暑が続く9月もまだまだ注意が必要です。ちよつとした工夫を生活に取り入れて、熱中症を予防しましょう。

### 熱中症かなと思ったら

○風通しのよい日陰や冷房の効いた室内に速やかに移動しましょう。  
○衣服を緩め、冷たい水や冷やしたタオルなどを首や脇の下、足の付け根に当てて体を冷やしましょう。  
○水分・塩分を補給しましょう。  
熱中症で命を落とすこともありま  
す。症状が改善しないときや自力で水分がとれないときなどは、救急車などで緊急に病院へ搬送することも必要です。

### 熱中症の予防法

・無理をせず徐々に体を暑さに慣らしましょう  
・室内でも温度を測りましょう  
・体調の悪いときは特に注意しましょう

日傘・帽子

日陰を利用

こまめに休憩

涼しい服装

こまめに水分・塩分を補給

### 熱中症の症状

●軽度 めまい、たちくらみ、筋肉痛、汗が止まらない  
●中度 頭痛、吐き気、体がだるい（倦怠感）、虚脱感  
●重度 意識がない、けいれん、高い体温、呼びかけに対して返事がおかしい、まっすぐに歩けない、走れない